

昭和54年度研究開発促進事業  
貝類養殖漁場適正利用技術開発研究  
ホタテガイ養殖漁場利用研究  
(要約)

青山 禎夫・高橋 克成・田中 俊輔・塩垣 優  
直江 春三・永峰 文洋・三津谷 正・尾坂 康

本研究は、陸奥湾におけるホタテガイ養殖漁場の適正利用方式について技術的究明をおこない、ホタテガイ産業の安定的発展をはかることを目的として昭和51年度から5年計画で実施している。

I. 実証試験

ホタテガイモデル養殖試験

- モデル養殖試験……53年度から継続して大規模養殖試験を実施 場所：野辺地
- モデル増殖予備試験…地まき増殖のへい死克服をはかるための試験を開始 場所：蓬田

II. 養殖技術改良試験

- 1) ホタテガイの生理特性の検討：稚貝の底質に対する選択性（成長に伴う選択性の変化）・稚貝の底質に対する選択性（選択性に及ぼす密度効果）・ホタテガイの流れに対する定位性についての実験をおこなった。
- 2) ホタテガイの種苗性の確立に関する研究  
：北海道・青森・岩手県産種苗がどのような育成管理のもとで生産されると、流通種苗として有効性を持つかを評価し、更にその種苗の生産方法を確立するための共同試験を実施した。
- 3) その他の試験および調査：ホタテガイの養殖および地まき増殖の実態調査・養殖籠への付着生物調査・ホタテガイの排泄速度に関する試験を実施した。

III. 漁場環境条件調査

- 1) 海況自動観測：陸奥湾に設置された5基のブイロボットにより海況観測を周年実施した。
- 2) 実証漁場環境調査：
  - 実証漁場水質調査：水温・塩分・DO・COD・PH・PO<sub>4</sub>-P・NO<sub>3</sub>-N・NO<sub>2</sub>-N・NH<sub>4</sub>-Nなどを実証漁場およびその周辺海域で実施した。
  - 実証漁場底質調査：18調査点で強熱減量・全硫化物・COD・フェオフィチン等を測定した。



本研究の詳細は「昭和51～53年度貝類養殖漁場適正利用技術開発研究」および「昭和54年度貝類養殖漁場適正利用技術開発研究」の各報告書を参照されたい。